



Title	「V-てもいい?」と「V-ていい?」の運用に関する一考察
Author(s)	秦, 秀美
Citation	外国語教育のフロンティア. 2023, 6, p. 63-77
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/91029
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「V- てもいい？」と「V- ていい？」の運用に関する一考察

A study on the usage of “V-temoi?” and “V-teii?” in Japanese

秦 秀美

要約

本稿では、日本語教育への示唆を得ることを目的に、「V- てもいい？」と「V- ていい？」を日本語母語話者がどのように使い分けしているかを調査分析した。その際、ポライトネス理論 (Brown & Levinson 1987) の考えを援用し、フェイス・リスク (Wx) と両形式の使用の関係を分析することで、使い分けの際の基準となるものや、両形式の性格を対人配慮の観点から探った。調査協力者は日本語母語話者の大学生 117 名で、談話完成テストを用いて調査を行った。

その結果、フェイス・リスクが大きく見積もられる場面では「V- てもいい？」の使用傾向が強く、「V- ていい？」の使用は好まれないことがわかった。また、フェイス・リスクが小さく見積もられる場面では「V- ていい？」が好まれる傾向が確認できた。この結果は、「V- ていい？」と「V- てもいい？」で表せる対人配慮の距離感が異なることを示唆するものであると言えよう。両形式を比較すると、「V- てもいい？」は相手との心理的距離を保ち、相手の決定権に踏み込まない典型的なネガティブ・ポライトネスの性格を帯びているのに対し、「V- ていい？」はネガティブ・ポライトネスのストラテジーである点では変わらないが、心理的距離を近づけた、相手の了解を先取りするような表現手段としての性格を帯びていると考えられる。

今回の分析結果を踏まえ、日本語教育へ示唆できることを2点述べた。まず、「V- ていい？」は会話などで「も」が省略された形式として扱われることが多いが、丁寧さと関係している可能性が示唆されており、「も」はあってもなくてもいいという運用情報のみに頼って多用すると、場合によっては失礼な印象を与える恐れがある。次に、「V- てもいい？」と「V- ていい？」の対人配慮における距離感の調整は、日本語学習者にとって必要とされる運用情報に値する可能性があるということを、韓国語と比較して示した。「も」の有無が対人配慮における距離感の調整に関わることへの理解によって、距離感の過剰な解釈に至ることなく、「V- ていい？」の了解求めのことわりを意図とした発話への適切な用い方にもつなげていくことができるのではないかと考えられる。

キーワード：V- てもいい？、V- ていい？、対人配慮、ポライトネス

1. はじめに

話し手の行為について許可を求める場面で使用される代表的な表現に「V- てもいい？」がある。また、「も」のない「V- ていい？」という形があり、日本語教育では「V- て(も) いい？」のように、丸括弧に「も」が提示され、会話などで省略された形式として扱われることがほとんどである (市川 2018: 59、清水 2013)。

平叙文の「でもいい」と「ていい」については、「でもいい」には許容できる事態がほかにも存在するという含みがあるのに対して、「ていい」はその事態の許容性のみを表し、他の事態についての含みをもたないことから生じる両形式の用法やニュアンスの違いがあることなどが知られている(日本語記述文法研究会 2003: 119-121)。しかし、質問文の「V- でもいい?」と「V- ていい?」の違いに着目した研究は少ない。秦(2022a, 2022b)は親しい友人で相手にかかる負担が少ない場面において「V- でもいい?」より「V- ていい?」の使用傾向が強いという調査結果を述べ、「も」は単純な省略とは違うことに触れているが、主に親しい友人間における使用傾向を分析対象とした考察のため、親疎関係の要因など調査場면을拡充して検討する必要がある。

本稿は、日本語教育への示唆を得ることを目的に、「V- でもいい?」と「V- ていい?」を日本語母語話者がどのように使い分けているかを調査分析する、その際、ポライトネス理論(Brown & Levinson 1987)の考えを援用することで、使い分ける際の基準となるものや、両形式の性格について対人配慮の観点から考察を試みる。

2. 先行研究および本稿における分析の方向

平叙文の「V- でもいい」と「V- ていい」の意味・用法の違いを分析した研究に、高梨(1995)がある。高梨は「シテモイイ」¹⁾が文の中で担う意味を①許可、②意向、③許容、④外界の容認・可能、⑤不満・後悔という5つに整理したうえで、「シテイイ」への置き換え可能性を考察し、問題なく使用できるのは「許可」の場合であることを指摘している。そして、「もう帰ってもいいですよ／もう帰っていいですよ」のように両形式が使える場合では、「シテモイイ」の方がより認め方が消極的に感じられるのは、「シテモイイ」の中核的な意味が、「テモ」ひいては「モ」の性質に端を発する「容認可能」にあることを挙げている。

同論文は、「シテモイイ」の中核的意味の規定において、「テモ」の用法で逆条件の方が優先的に解釈される仕組みを論じた前田(1993)を踏まえた上で、以下の例(1)のように通常肯定評価しにくい事態を「いい」と述べることから、肯定評価というより「容認可能」といった読みが生じると述べている。

(1) この自転車はもうぼろぼろだから、盗まれてもいい。(高梨 1995: 246)

さらに、「シテイイ」が、容認というより、むしろそうすべきだというニュアンスが感じられる以下の例(2)では「モ」を入れると落ち着きが悪くなり、「シテモイイ」と「シテイイ」の中心となる性格が「モ」の有無により異なることが指摘されている。

(2) 「何?」「ううん……寝てていいよ」
? ううん……寝ててもいいよ。(高梨 1995: 251)

このように、「シテモイイ」は「テモ」に先行する事態が、本来であれば「いい」に値することではないという意味での逆条件づけの関係で捉えられ、発話に含意される話し手の態度の解釈が「シテイイ」と異なることがわかる。これを踏まえると、質問文の「V-

でもいい？」と「V-ていい？」は許可を求めるという発話の意味内容は同じであっても、当該事態を逆条件づけで提示する「V-でもいい？」は、相手の不都合となりうることへの気遣いを「V-ていい？」より明示的に表す形式として選択される可能性があると考えられる。本稿では、このような対人配慮における「V-でもいい？」と「V-ていい？」の使い分けの可能性を検証するために、Brown & Levinson (1987) のポライトネス理論の考えを援用し、調査分析を進める。

他者に踏み込まれたくない欲求（ネガティブ・フェイス）と他者に認められたい欲求（ポジティブ・フェイス）という人間の基本的な2種類の欲求がフェイスであり、ポライトネスはフェイス侵害行為（FTA）となりうるフェイス・リスク（Wx）の度合いに合わせて行われる補償的な配慮の言語行動と言える。フェイス・リスク（Wx）は、相手との「社会的距離（D）」、「力関係（P）」、「事柄の負荷度（R）」という要因によって決まり、それを見積もる公式²⁾は「 $Wx = D(S, H) + P(H, S) + Rx$ 」（Brown & Levinson 1987: 76）のように表される。「社会的距離（D）」は相手との親疎関係に、「力関係（P）」は上下関係に当てはまる。同じ行為であっても、例えば、「社会的距離（D）」の値が高い「知らない人」ではフェイス・リスク（Wx）の度合いは総合的に大きく見積もられる。

ポライトネスにも相手のネガティブ・フェイスを侵害せず、心理的距離感を保つネガティブ・ポライトネスと、相手との心理的距離感を縮めるポジティブ・ポライトネスの2種類があり、滝浦（2008）は、ネガティブ・ポライトネスを敬避的配慮、ポジティブ・ポライトネスを共感的配慮と呼び、対人配慮の距離の観点から「遠隔化」と「近接化」の対として説明されている。

本稿で取り上げる「V-でもいい？」と「V-ていい？」は、許可求めというフェイス侵害行為（FTA）の軽減を明示的に行うネガティブ・ポライトネスの戦略であるが、フェイス・リスク（Wx）の度合いが異なる場面間において、「V-でもいい？」と「V-ていい？」がどのような使用傾向を示すかを調査し、フェイス・リスク（Wx）と両形式の使用の関係を分析することで、使い分けの際の基準となるものや、両形式の性格を対人配慮の観点から探る。

3. 調査の概要

本稿の調査では、「V-でもいい？」「V-ていい？」の使用とフェイス・リスク（Wx）との関係を分析するために、フェイス・リスク（Wx）を見積もる際の3つの要因（「社会的距離（D）」、「力関係（P）」、「事柄の負荷度（R）」）の変動を統制して調査場面を設定した。

調査場면을デザインするにあたって、「V-でもいい？」と「V-ていい？」が典型的な許可求め以外の場面においても、例えば、敬語表現の観点からの丁寧表現（川口 1997、蒲谷・川口・坂本 1998）や、普通体で話す問柄における配慮表現（秦 2021、2022a、2022b）として現れることに注目し、場面をより広く捉え、全部で9項目の調査場面を設定した³⁾。調査方法は、各場面における条件を統制することができ、データ収集や場面間の比較が容易な談話完成テスト（以下、DCT）を用いた。DCT事項の詳細は末尾の資料1の通りである。

調査場面 1-6 は「事柄の負荷度（R）」の内容を「相手の所有物にかかわるもの」と「相

手の物理的な空間にかかわるもの」に分けて固定した上で、「社会的距離 (D)」、「力関係 (P)」の人間関係要因の変動による影響に注目する。次の調査場面 7-9 は、「事柄の負荷度 (R)」の変動による影響に注目するため、人間関係要因を「親しい友人」と固定した。

一般的に DCT は自由記述式で回答してもらう方法をとることが多いが、本調査では「V- てもいい?」と「V- ていい?」を含め、その状況において使用可能な他の言い方の選択肢⁴⁾を準備し、調査協力者自らの言うであろう表現を全て選んでもらう複数回答にした。さらに、「その他」を加えて、選択肢の中にある表現以外に普段使う表現がある場合は記入してもらった。本調査の目的は「V- てもいい?」と「V- ていい?」の使用傾向を探ることにあるが、各調査場面で使われる表現は「V- てもいい?」「V- ていい?」に限らないため、複数回答で「V- てもいい?」と「V- ていい?」の各調査場面における許容度を調べた上で、使用傾向を調査することにした。

分析するにあたっては、回答の中に「V- てもいい?」か「V- ていい?」が選択されているものを集め、①「V- てもいい?」のみの選択、②「V- てもいい?」と「V- ていい?」の両方選択、③「V- ていい?」のみの選択という 3 つに分類し、①②③が全体に占める割合を調査場面別に比較する。

本調査協力者は、日本語を母語とする近畿地方在住の K 大学の大学生 117 名 (女子 87 名、男子 30 名、最も長く住んでいた地域: 北海道 1 人・関東 2 人・中部 3 人・近畿 100 人、中国 5 人、四国 4 人、九州 2 人、2002 年~2004 年生まれ) である。設問紙 (匿名回答) に記入してもらう方法で、2022 年 7~8 月に対面で調査を行った。

4. 調査結果の分析

4.1 人間関係要因に注目した「V- てもいい?」と「V- ていい?」の使用傾向

本節では、人間関係要因の変動による「V- てもいい?」と「V- ていい?」の使用傾向を分析するため、「事柄の負荷度 (R)」の要因を固定した上で「親しい友人」、「大学の先生」(「力関係 (P)」の値の高い社会的立場の上の人)、「同年代の知らない人」(「社会的距離 (D)」の値の高い疎の関係の人) という相手要因を組み入れた調査場面 1-6 の調査結果を述べる。

4.1.1 調査場面 1-3 における使用傾向

調査場面 1、2、3 は、すぐそこに相手の所有物 (ティッシュ) があり、それを使わざるを得ない状況設定にして使用傾向を調査した。その結果、「V- てもいい?」「V- ていい?」を単独または複数選択で選んだのは、調査協力者 117 名中、調査場面 1 (親しい友人) は 88 名、調査場面 2 (大学の先生) は 109 名、調査場面 3 (同年代の知らない人) は 97 名である (表 1-1)。

表 1-1 調査場面 1-3 における「V- でもいい?」「V- ていい?」の選択人数（%）

調査場面 1 親しい友人	調査場面 2 大学の先生	調査場面 3 同年代の知らない人
88 人（75.2%）	109 人（93.1%）	97 人（82.9%）

調査場面 1 は、選択肢にあった「ちょうどいい」という言い方が単独で選択された回答の影響により、調査場面 2 と 3 に比べて「V- でもいい?」「V- ていい?」の選択割合がやや低く現れた。

次の表 1-2、図 1 は、表 1-1 で集められた回答を①「V- でもいい?」のみの選択、②「V- でもいい?」と「V- ていい?」の両方選択、③「V- ていい?」のみの選択に分類し、①②③が全体に占める割合を調査場面別に示したものである。

表 1-2 調査場面 1-3 における「V- でもいい?」「V- ていい?」の使用状況の内訳

	「V- でもいい?」	両方選択	「V- ていい?」	合計
調査場面 1 親しい友人	21（23.9%）	25（28.4%）	42（47.7%）	88（100%）
調査場面 2 大学の先生	83（76.1%）	12（11.0%）	14（12.8%）	109（100%）
調査場面 3 同年代の知らない人	81（83.5%）	8（8.2%）	8（8.2%）	97（100%）

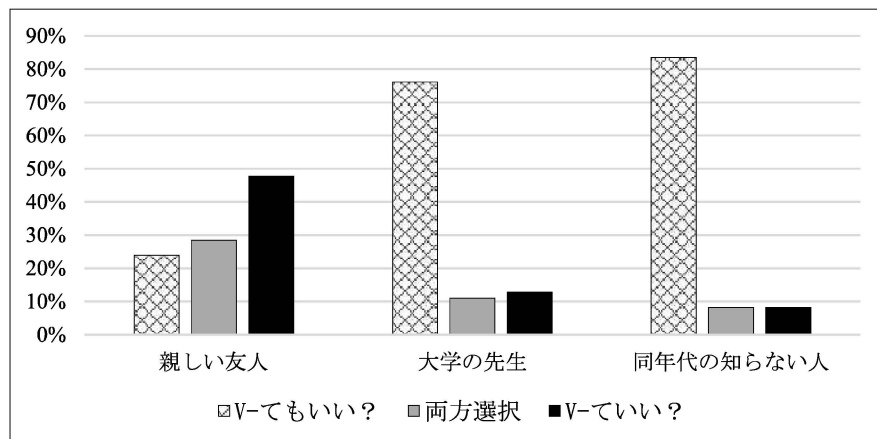


図 1 調査場面 1-3 の「V- でもいい?」「V- ていい?」の使用状況

表 1-2、図 1 をみると、「親しい友人」に対しては「V- ていい?」のみの使用が 47.7% と最も多いのに対し、「大学の先生」と「同年代の知らない人」に対しては「V- でもいい?」のみの使用がそれぞれ 76.1%、83.5% を占めており、多く使われる傾向がある。また、「大学の先生」と「同年代の知らない人」に対する全体的な使用は似た傾向を示しており、「V- でもいい?」と「V- ていい?」の使用傾向の相違が目立つ。「V- ていい?」

のみの使用は両場面ともに 1 割を下回る。どちらも使うという両方選択においてもそれぞれ 11.0%、8.2% にとどまっており、「V- でもいい？」のみの使用を好む傾向が強いことがわかる。

一方で、「親しい友人」に対しては「V- ていい？」のみの使用が 47.7% と高く、「V- ていい？」を好む傾向があるものの、「V- でもいい？」のみの使用が 23.9%、どちらも使うという両方選択の回答も 3 割近く (28.4%) にのぼる。「大学の先生」、「同年代の知らない人」に対して見られたような「V- でもいい？」と「V- ていい？」の使用傾向の偏りは見られない。

4.1.2 調査場面 4-6 における使用傾向

調査場面 4、5、6 は、相手の物理的な空間へ入り込むという状況を設定して使用傾向を調査した。調査場面 4 と 6 は同じ状況設定であるが、調査場面 5 は同じ状況設定が難しいと判断し、教員の研究室を尋ねるという状況を設定した。調査の結果、「V- でもいい？」「V- ていい？」を単独または複数選択で選んだのは、調査協力者 117 名中、調査場面 4 (親しい友人) は 92 名、調査場面 5 (大学の先生) は 95 名、調査場面 6 (同年代の知らない人) は 88 名である (表 2-1)。

表 2-1 調査場面 4-6 における「V- でもいい？」「V- ていい？」の選択人数 (%)

調査場面 4 親しい友人	調査場面 5 大学の先生	調査場面 6 同年代の知らない人
92 人 (78.6%)	95 人 (81.1%)	88 人 (75.2%)

次の表 2-2、図 2 は、表 2-1 で集められた回答を①「V- でもいい？」のみの選択、②「V- でもいい？」と「V- ていい？」の両方選択、③「V- ていい？」のみの選択に分類し、①②③が全体に占める割合を調査場面別に示したものである。

表 2-2 調査場面 4-6 における「V- でもいい？」「V- ていい？」の使用状況の内訳

	「V- でもいい？」	両方選択	「V- ていい？」	合計
調査場面 4 親しい友人	26 (28.3%)	18 (19.6%)	48 (52.2%)	92 (100%)
調査場面 5 大学の先生	74 (77.9%)	11 (11.6%)	10 (10.5%)	95 (100%)
調査場面 6 同年代の知らない人	69 (78.4%)	9 (10.2%)	10 (11.4%)	88 (100%)

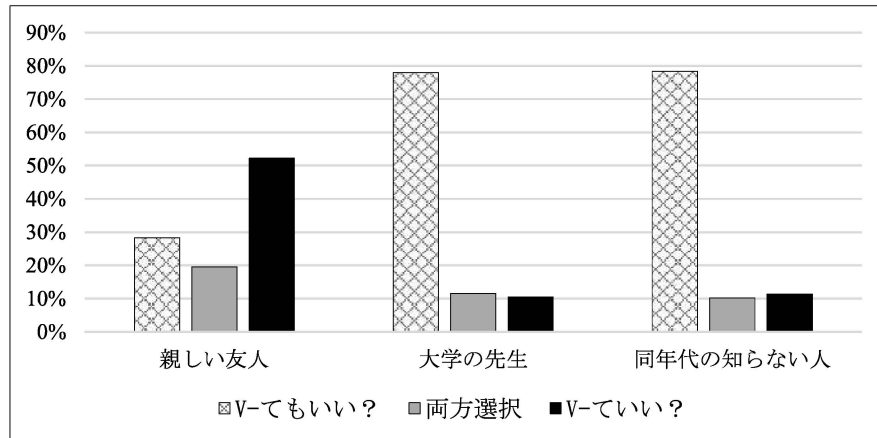


図2 調査場面4-6の「V- てもいい?」「V- ていい?」の使用状況

表2-2、図2をみると、「大学の先生」と「同年代の知らない人」に対しての全体的な使用傾向は、4.1.1の調査場面2、3の結果と似た傾向を示しており、どちらも使うという両方選択や、「V- ていい?」のみの使用は1割前後と低く、「V- てもいい?」を好む傾向が強い。

一方で、「親しい友人」に対しては「V- ていい?」のみの使用が52.2%と高い。次に「V- てもいい?」のみの使用が28.3%、どちらも使うという両方選択が19.6%と現れた。4.1.1の調査場面1の使用傾向に比べて、両方選択がやや少ないものの、調査場面1と似た使用傾向を示していると言えよう。

以上、調査場面1-6の結果から「V- てもいい?」と「V- ていい?」の選択に対する人間関係要因の影響が確認できた。数値的にはっきりした使用傾向の違いが現れたのは、「大学の先生」、「同年代の知らない人」である。「事柄の負荷度(R)」の要因が類似する状況であっても、「親しい友人」に比べてフェイス・リスク(Wx)が大きく見積もられる、力関係(P)の値の高い社会的立場が上の「大学の先生」、社会的距離(D)の値の高い疎の関係の「同年代の知らない人」では「V- てもいい?」の使用傾向が強く、「V- ていい?」の使用は好まれないことがわかった。このことは、「V- てもいい?」と「V- ていい?」で表せる対人関係の距離感が異なることを示唆している。

4.2 事柄要因に注目した「V- てもいい?」と「V- ていい?」の使用傾向

4.1では「V- てもいい?」と「V- ていい?」の選択に対する人間関係要因の影響が確認できたが、本節では「事柄の負荷度(R)」の変動による使用傾向を分析し、事柄の観点から両形式の相違を検討する。ここで取り上げる調査場面7、8、9は、人間関係要因を「親しい友人」に固定し、負荷度の異なる事柄を組み入れたものである。調査場面7は「放課後、親しい友人と帰り道にコンビニに寄る」、調査場面8は「親しい友人と打ち上げを楽しんでいる最中に抜けてしまう」、調査場面9は「親しい友人と当日遊ぶ予定があったのに、話し手の都合で直前になって予定を変更してもらおう」という状況を設定した。3つの場面のうち、事柄そのものの負荷度が大きいと想定したのは、相

手に予定変更を求める調査場面 9 (予定変更) である。

また、調査場面 8 (打ち上げ) には「ごめん」、「申し訳ないんだけど」という発話を入れ、話し手の申し訳なく感じる気持ちを明確に示した。調査場面 7 (コンビニ) と事柄に抱く話し手の気持ちの重さが異なる場面として区別することで、感情的な側面の影響に注目する。調査場面 9 (予定変更) には「悪いけど」という発話を入れた。

調査の結果、「V- でもいい?」「V- ていい?」を単独または複数選択で選んだのは、調査協力者 117 名中、調査場面 7 (コンビニ) は 109 名、調査場面 8 (打ち上げ) は 76 名、調査場面 9 (予定変更) は 52 名である (表 3-1)。3 つの場面のうち、話し手が行う行為について「V- でもいい?」「V- ていい?」を用いた発話の許容度が高いのは、調査場面 7 (コンビニ) という結果が現れた。

表 3-1 調査場面 7-9 における「V- でもいい?」「V- ていい?」の選択人数 (%)

調査場面 7 コンビニ	調査場面 8 打ち上げ	調査場面 9 予定変更
109 人 (93.2%)	76 人 (65.0%)	52 人 (44.4%)

調査場面 9 (予定変更) は話し手の都合により相手に予定を変更してもらう行為要求のため、相手の予定変更を巻き込んで話し手の行為として表現する「変更してもいい?」「変更していい?」の使用は 44.4% にとどまっていると考えられる。その一方で、回答の「その他」に記入があった 22 例中 12 例に「変更して (変えて) もらってもいい?」が見られ、「V- てもらってもいい?」という依頼形で「てもいい?」が使われていた。興味深いことに、「V- てもらってもいい?」という形を用いた記入例は現れなかった。

次に、表 3-1 で集められた回答を①「V- でもいい?」のみの選択、②「V- てもいい?」と「V- ていい?」の両方選択、③「V- ていい?」のみの選択に分類し、①②③が全体に占める割合を調査場面別に示したのが表 3-2、図 3 である。

表 3-2 調査場面 7-9 における「V- でもいい?」「V- ていい?」の使用状況の内訳

	「V- でもいい?」	両方選択	「V- ていい?」	合計
調査場面 7 コンビニ	30 (27.5%)	24 (22.0%)	55 (50.5%)	109 (100%)
調査場面 8 打ち上げ	48 (63.2%)	10 (13.2%)	18 (23.7%)	76 (100%)
調査場面 9 予定変更	38 (73.1%)	7 (13.5%)	7 (13.5%)	52 (100%)

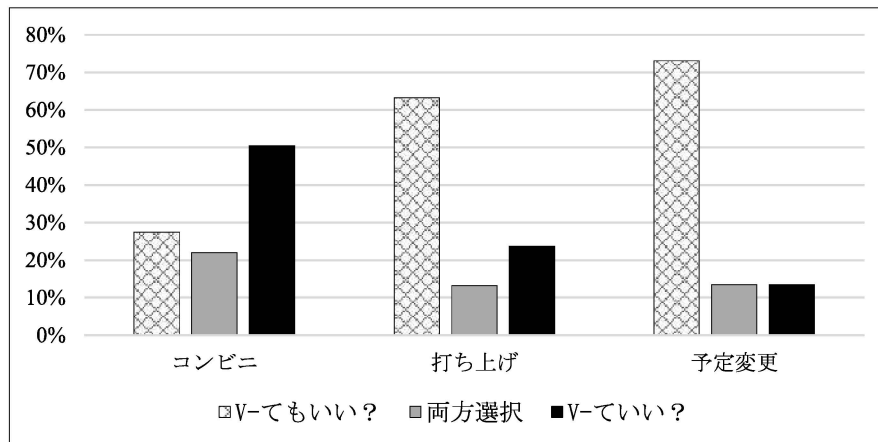


図3 調査場面7-9の「V- でもいい？」「V- ていい？」の使用状況

表3-2によると、「V- ていい？」のみの使用が最も多いのは調査場面7（コンビニ）の50.5%で、次が調査場面8（打ち上げ）の23.7%、調査場面9（予定変更）は13.5%である。これと対照的に、「V- でもいい？」のみの使用は調査場面8（打ち上げ）で63.2%、調査場面9（予定変更）では73.1%を占めており、使用率の高さが目立っている。調査場面7（コンビニ）における「V- でもいい？」の使用は27.5%と低い。図3が示すように、事柄の負荷度が相対的に大きい調査場面7（コンビニ）＜調査場面8（打ち上げ）＜調査場面9（予定変更）の順に「V- でもいい？」の使用が占める割合が多く、「V- ていい？」の使用が占める割合は少ない結果となった。

調査場面7（コンビニ）と調査場面8（打ち上げ）においては「飲み物買ってくる」（117名中13名）、「申し訳ないんだけど、先に帰る（わ）」（117名中53名）という言い方も可能であるが、「V- でもいい？」と「V- ていい？」が用いられるのは、会話を中断してコンビニに寄る行為や、その場を一緒に楽しめず、抜けてしまう行為に対する配慮を示すためであると考えられる。ここで注目したいのは、その状況における話し手の気持ちを発話に入れてある調査場面8（打ち上げ）において、「V- でもいい？」の使用の高さが目立つことである。「申し訳ないんだけど」という前置き表現と合わせて、申し訳ない気持ちをはっきり表せるのは「V- でもいい？」であることが、「V- でもいい？」と「V- ていい？」の使用比率の差からうかがえる。これは調査場面9（予定変更）の当日遊ぶ予定のキャンセルと、相手に予定を変更してもらうという負荷度が大きい状況において、「V- でもいい？」と「V- ていい？」の使用比率の差がより一層際立つことから説明できる。

以上のように、「V- でもいい？」と「V- ていい？」の選択に対する「事柄の負荷度（R）」の要因の影響が確認できたが、両形式の使用傾向の違いが数値的にはっきり現れたのは、事柄そのものの負荷度が大きい調査場面9（予定変更）、申し訳なく思う感情的側面が明確な調査場面8（打ち上げ）である。親しい友人に対してでも、負荷度の大きい事柄や、申し訳なく思う感情的側面により、フェイス・リスク（Wx）が大きく見積もられる場面では「V- でもいい？」の使用傾向が強く、「V- ていい？」の使用は好ま

れず、「V- でもいい?」と「V- ていい?」は距離感の異なる形式であることが事柄要因の観点からも示唆された。

5. 「V- でもいい?」と「V- ていい?」の運用上の特徴—日本語教育への示唆

以上から、フェイス・リスク (Wx) が大きく見積もられる場面では「V- でもいい?」の使用傾向が強く、「V- ていい?」の使用は好まれないことがわかった。また、フェイス・リスク (Wx) が小さく見積もられる場面では「V- ていい?」が好まれる傾向が確認できた。この結果は、「V- ていい?」と「V- でもいい?」で表せる対人配慮の距離感が異なることを示唆するものであると言えよう。

両形式を比較すると、「V- でもいい?」は相手との心理的距離を保ち、相手の決定権に踏み込まない典型的なネガティブ・ポライトネスの性格を帯びていると言える。これに対し、「V- ていい?」はネガティブ・ポライトネスの戦略である点では変わらないが、心理的距離を近づけた、相手の了解を先取りするような表現手段としての性格を帯びていると考えられる。親しい友人間で相手にかかる負担が少ない場面において「V- ていい?」が、話し手の行為実行の可否判断を相手に求めるというより、今から実行することが自明な【ことわり】の発話や、【確認】の発話により一層好まれて使用される調査結果 (秦 2022a, 2022b) もそれを裏付ける。

一方で、調査場面 1 (ティッシュ)、調査場面 4 (席)、調査場面 7 (コンビニ) では親しい友人に対して「V- ていい?」が好まれて使用される傾向があるが、「V- でもいい?」のみの使用比率が少なくはないということに注目する必要がある。調査場面 1 を例に挙げれば、親しい友人のティッシュ 1 枚を、どの程度負荷度のある事柄と見積もるかには個人差があると考えられる。相手の所有物である以上は、親しい友人のティッシュ 1 枚でも、フェイス・リスク (Wx) を大きく見積もるという個人差が「V- でもいい?」の使用に反映されていると解釈できるが、その使用比率は一定数を占めており、興味深い。

次に、本稿の分析結果から、日本語教育へ示唆できることを 2 点述べる。1 点目は、「V- ていい?」は会話などで「も」が省略された形式として扱われることが多いが、丁寧さと関係している可能性が示唆されたということである。「も」はあってもなくてもいいという運用情報のみに頼ってむやみに使用すると、場合によっては失礼な印象を与える恐れがあるため、注意が必要である。

2 点目は、「V- でもいい?」と「V- ていい?」による対人配慮における距離感の調整は、日本語学習者にとって必要とされる日本語運用情報に値する可能性があるということである。

例えば、韓国語の「V- 아도 ㄷㄹ?」という形式は日本語の「V- でもいい?」に相当する。「も」に相当するのが「도」であるが、韓国語には「V- ていい?」に相当する「V- 아 ㄷㄹ?」という形式はない。秦 (2022a) は「V- 아도 ㄷㄹ?」が社会的立場の上の人に対して最も多く使われ、親しい友人間においては、相手にかかる心理的または物理的な負担が大きい場合に使われると述べており、フェイス・リスク (Wx) が大きく見積もられる場面で好まれることがうかがえる。一方、フェイス・リスク (Wx) が小さい場合、「V- ていい?」に相当する形式がない韓国語では、その状況に見合った距離感を表す表

現、例えば、相手の了解を求める発話に用いられる語尾の「V-^{ウルケ}을게」、言いさし表現の「N^{チョム}ぢ」などが好まれて使われる (秦 2022a)。

そのため、フェイス・リスク (W_x) が小さいにもかかわらず、「V-^{アド トミ}아도 돼?」を使うと、心理的距離感の取り過ぎによる不可解な印象を感じさせてしまうことがあると考えられる。したがって、韓国語を母語とする日本語学習者の場合、「V-ていい?」が「V-でもいい?」の「も」の単純な省略の形式だと理解してしまうと、「V-^{アド トミ}아도 돼?」の運用ルールの干渉により日本語母語話者の「V-ていい?」を用いた発話に対する距離感の取り方の理解や、適切な運用が難しくなる可能性がある。

「も」の有無が対人配慮における距離感の調整に関わることへの理解によって、距離感の過剰な解釈に至ることなく、「V-ていい?」の了解求めのことわりを意図とした発話への適切な用い方にもつなげていくことができるのではないかと考えられる。

6. おわりに

本稿は「V-でもいい?」と「V-ていい?」を日本語母語話者がどのように使い分けているのか、ポライトネス理論 (Brown & Levinson 1987) の考えを援用して対人配慮の観点から調査分析した。その結果、フェイス・リスク (W_x) が大きい場面では「V-でもいい?」の使用傾向が強く、「V-ていい?」の使用は好まれないのに対し、フェイス・リスク (W_x) が小さい場面では「V-ていい?」が好まれるという運用上の相違のあることがわかった。

この結果は、「V-でもいい?」と「V-ていい?」の対人配慮における距離感の相違を示唆しており、日本語母語話者からみると、ここまで細かいミクロレベルの運用情報が日本語学習者に必要なのかという疑問がわくかもしれない。しかし、対人配慮において「V-でもいい?」と「V-ていい?」の「も」の有無による距離感の調整は、外国語を母語とする学習者にこそ必要となる日本語運用情報である可能性があることを述べた。

注

- 1) 原文のまま記載
- 2) 日本語訳は、滝浦 (2008: 030) による。

【フェイス・リスク見積もりの公式】

$$W_x = D(S, H) + P(H, S) + R_x$$

W_x (weightiness) : ある行為 x の相手に対するフェイス・リスク

D (distance) : 話し手 (speaker) と聞き手 (hearer) の社会的距離

P (power) : 聞き手 (hearer) の話し手 (speaker) に対する力

R_x (rating [ranking] of imposition) : 特定の文化内における行為 x の負荷度

- 3) 調査場面採用は、筆者の観察に依るもので、場面の現実感については日本語母語話者の大学生、大学院生の判断協力を得た。
- 4) 選択肢の中の動詞は日本語母語話者の大学生のインフォーマントに予備調査を行い、その結果を基に採択したが、どの動詞を用いるかについて個人差があることを断っておく。なお、調査場面 2、5 の敬語については、正しいかどうかを判断基準とせず、身につけていく過程

と捉え、その年齢でよく使われる表現から採択して選択肢を作成した。

参考文献

市川 保子

- 2018 『日本語類義表現と使い方のポイント』 スリーエーネットワーク、東京。

遠藤 直子

- 2006 「「初級文型の硬直化」を防ぐために―テモイイ文型を例として―」『日本語文法』6 (1)、72-87。
2008 「日本語学習者による初級文型～テモイイのとらえ方について―「初級文型の硬直化」の問題から―」『日本語教育』137、21-30。

蒲谷 宏・川口 義一・坂本 恵

- 1998 『敬語表現』大修館書店、東京。

蒲谷 宏

- 2013 『待遇コミュニケーション』大修館書店、東京。

川口 義一

- 1997 「「許可求め／与え表現」の文脈化」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』43 第3分冊、29-44。

清水 崇文

- 2013 『中上級者のためのブラッシュアップ日本語会話』スリーエーネットワーク、東京。

鈴木 睦

- 1989 「聞き手の私的領域と丁寧表現」『日本語学』8 (2)、58-67。
1997 「日本語教育における丁寧体世界と普通体世界」田窪行則編『視点と言語行動』くろしお出版、東京、45-76。

高梨 信乃

- 1995 「シテモイイとシテイイ―条件接続形式による評価的複合表現②―」宮島達夫・仁田義雄編『日本語類義表現の文法（上）単文編』くろしお出版、東京、244-252。
2010 『評価のモダリティ』くろしお出版、東京。

滝浦 真人

- 2008 『ポライトネス入門』研究社、東京。

滝浦 真人・大橋 理枝

- 2015 『日本語とコミュニケーション』放送大学教育振興会、東京。

秦 秀美

- 2021 「＜許可求め＞以外の「V- てもいい？」の運用上の特徴」『外国語教育のフロンティア』4、大阪大学大学院言語文化研究科、99-111。
2022a 「了解求めのことわりとしての「V- てもいい？」と「V- 아도 돼？」の運用に関する一考察」『外国語教育のフロンティア』5、大阪大学大学院言語文化研究科、159-174。
2022b 「日本語の「V- てもいい？」と韓国語の「V- 아도 돼？」の運用に関する一考察―相手の意に沿わない恐れがある提案場面を中心に―」『言語文化研究』第48号、大阪大学大学院言語文化研究科、135-151。

日本語記述文法研究会

2003 『現代日本語文法 4 モダリティ』 くろしお出版、東京。

2008 『現代日本語文法 6 複文』 くろしお出版、東京。

2009 『現代日本語文法 5』 くろしお出版、東京。

蓮沼 昭子

2017 「順接と逆接の境界—日本語学習者は逆接条件の「テモ」になぜ順接条件形式を使用するのか—」『習ったはずなのに使えない文法』 くろしお出版、東京、119-146。

藤井 聖子

2002 「所謂「逆条件」のカテゴリー化をめぐって—日本語と英語の分析から」『シリーズ言語科学 4 対照言語学』 東京大学出版会、東京、249-280。

前田 直子

1993 「逆接条件文「～テモ」をめぐって」益岡隆志編『日本語の条件表現』 くろしお出版、東京、149-167。

松岡 弘 他

2000 『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク、東京。

山岡 政紀・牧原 功・小野 正樹

2018 『新版日本語語用論入門』 明治書院、東京。

[英語]

Brown, P. and Levinson, S. C.

1987 *Politeness: Some Universals in Language Usage*, Cambridge University Press, Cambridge. [田中 典子（監訳） 齊藤早智子・津留崎毅・鶴田庸子・日野壽憲・山下早代子（訳） 2011 『ポライトネス — 言語使用における、ある普遍現象』 研究社、東京]

資料 1 DCT 事項

1. 授業中、突然鼻血が出てしまいましたが、あなたはティッシュもハンカチも持っていません。隣に座っている親しい友人の机の上にポケットティッシュが置いてあります。1 枚使いたいです。

あなた：ティッシュ 1 枚

- ① もらってもいい？
- ② もらう (ね)。／もらう (よ)。／もらう (わ)。
- ③ もらっていい？
- ④ ちょうだい
- ⑤ その他 ()

2. あなたは大学の勉強についていけず、担当先生の研究室で悩み相談をしています。先生があなたの悩みに真摯に寄り添ってくださったので、感激のあまり涙が出そうになりました。あなたの手が届くところにティッシュボックスがあったので、1 枚使いたいです。

あなた：すみません、ティッシュ 1 枚

- ① いただいても／もらってもいいですか。
- ② いただきます。
- ③ いただいて／もらっていいですか。
- ④ よろしいでしょうか。
- ⑤ その他 ()

3. 授業中、突然鼻血が出てしまいましたが、あなたはティッシュもハンカチも持っていません。隣に座っている同年代の知らない人の机の上にポケットティッシュが置いてあります。1 枚使いたいです。

あなた：すみません、ティッシュ 1 枚

- ① もらってもいいですか。
- ② もらいたんですが。
- ③ もらっていいですか。
- ④ もらえませんか。
- ⑤ その他 ()

4. 新学期初日の授業日です。大講義室での授業で、ほとんど満席となっています。一つ空いている席を見つけて近づいてみたら、その席の隣に座っているのは、親しい友人でした。

あなた：え～、授業一緒だね！ここ

- ① 座ってもいい？
- ② 空いてる？
- ③ 座っていい？
- ④ その他 ()

5. あなたは教授に研究課題について相談したいことがあるため、アポを取りたいと思っています。

あなた：研究課題について相談したいことがあるのですが、来週の月曜日お時間いかがでしょうか。

教授：午前中なら空いてますよ。

あなた：それでは、11 時に研究室に

- ① 伺ってもよろしいでしょうか。
- ② 伺います。
- ③ 伺ってよろしいでしょうか。
- ④ その他 ()

6. 新学期初日の授業日です。大講義室での授業で、ほとんど満席となっています。一つ空いている席を見つけたあなたは、その席の隣に座っている同年代の知らない人に声をかけます。
あなた：すみません、ここ

- ① 座ってもいいですか。
- ② 空いてますか。
- ③ 座っていいですか。
- ④ その他 ()

7. 放課後、帰り道に親しい友人と会話をしながら駅に向かって歩いています。あなたは、すぐそこにあるコンビニで飲み物を買いたいです。

あなた：喉、乾いた！ちょっと

- ① コンビニ寄ってもいい？
- ② 飲み物買ってくる。
- ③ コンビニ寄っていい？
- ④ コンビニ寄らせて。
- ⑤ その他 ()

8. 親しい友人4人と打ち上げを楽しんでいます。ここ数日無理をしたせいか、急に気分が悪くなったあなたは、家に帰って休みたくなりました。

あなた：ごめん。急に気分が悪くなって…

申し訳ないんだけど、先に

- ① 帰ってもいい？
- ② 帰らせて。
- ③ 帰っていい？
- ④ 帰る（わ）。／帰る（ね）。
- ⑤ その他 ()

9. 親しい友人と今日遊ぶ約束をしましたが、急にバイトが入ったため、日程を変更したいと思っています。

あなた：今日約束してたけど、バイト急に入って。

悪いけど、日にち

- ① 変更してもいい？
- ② 変えられる？
- ③ 変更していい？
- ④ 変更させてもらえる？
- ⑤ その他 ()